

3

こんな子が狙われている

子どもを襲う犯罪者（チャイルドマレスター）は、無差別に対象となる子どもを選ぶわけではありません。犯罪者に目を付けられ、狙われやすい子どもは、おおよそ次の4つの傾向があります。

犯罪に遭いやすい子

1

自己主張や抵抗ができない弱い子ども

犯罪者は「自分よりも弱い」とみなした子どもを狙います。もちろんどの子どもも大人に比べれば体力ではかきませんが、しっかりした心を持っていると狙われることはずっと少なくなります。例えば、怪しい人から声をかけられたり、誘われたりしたときにきっぱりと断ったり、「イヤだ」と即答したり、「危ない」と思ったときにすぐに逃げたりする判断力と行動力を持つことで犯罪から免れる割合が増えます。また大人の言うことをそのまま素直に聞く「優等生タイプ」の子どもも防犯の上からは狙われやすい子になります。



2

一人でいる子ども

犯罪に巻き込まれた子どもたちの多くは一人でいる時を狙われています。子どもが戸外で一人になる時間帯を作らないことが大切です。また、大人と一緒にいても、心のおもむくままに自分勝手な行動をしたり、親の手を振り払ってどこかに行ってしまう子どもは危険です。大人にも、子どもを一人でトイレに行かせたり、ゲームコーナーで一人にさせたりしない配慮が必要です。



規準表〈21a〉 子どもが巻き込まれやすい犯罪の種類や特徴、手口を理解している。

- ねらい ①子どもが巻き込まれている犯罪の種類を知っている。
 ③子どもがターゲットとなりやすい犯罪の手口について知っている。

3

3

行き場のない子や目的がはっきりしない子

犯罪者は対象となる子どもの挙動をよく観察しています。路上できょろきょろして何をしようとしているのかよく分からない子どもや、繁華街を目的もなくぶらぶら歩いている子ども、にぎやかな町の通りでいつも見かけたりする子どもなどが狙われます。



4

曖昧な態度の子や心に隙間がある子

自分で判断できずに、大人のいいなりになってしまう子どもや、心に隙間がある子どもです。犯罪者はいきなり子どもに襲いかかるのではなく、いくつかの言葉のやりとりをしながら犯行を実行に移すかどうか判断します。このときスキを見せずに毅然とした態度で対応し、危険を察知できれば犯行を未然に防ぐことができます。



狙われやすい子どもの傾向を理解しましょう

 **ビデオ教材** (ビデオ→ こんな子がねらわれている)

※子どもが被害に遭いやすい性的犯罪とその対策についてまとめてみましょう。

Column

小児性愛者って何？

子どもに対し性的な夢を抱く人間のことを小児性愛者（ペドファイル）といいます。子どもに性的虐待を行う者はこういった性向を持つ人間であると思われがちですが、実際にはこういった性向のない者が子どもに対して性的虐待を行うことも多くあります。このように、子どもに対して性的な虐待を行う犯罪者のことを小児性犯罪者（チャイルドマレスター）といいます。

チャイルド
マレスター

ペドファイル